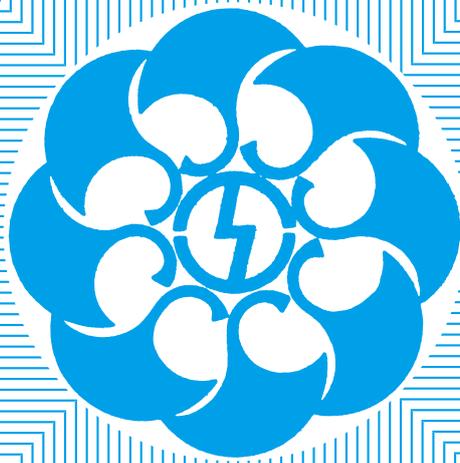


会 報



一般社団法人
神奈川県空調衛生工業会

第145号

〔フラミンゴ〕
野毛山動物園にて撮影



写真提供：株式会社光電社 鈴木 貴将氏

目 次

第56回定時総会	1
令和5年度 役員及び会の執行体制	3
会員意識調査報告の概要（令和5年2月実施）	4
令和4年度安全講習会開催（令和5年2月14日、15日）	安全委員会 7
令和4年度第2回研修会（オンライン）開催	研修委員会 7
定例理事会議事報告（2月・3月・4月・5月・6月）	8
（一社）日本空調衛生工事業協会第75回定時総会	8
新役員紹介	9
新会員紹介	9
親睦会報告	9
会員に関わるお知らせ	10
今後の行事予定／編集後記	

第56回定時総会



第56回定時総会及び表彰式を5月12日(金)に横浜市中区にあるロイヤルホールヨコハマで開催しましたので概要をご報告します。

◇ 定時総会の概要

行 事	開 催 時 間	会 場	出 席 者 等
定時総会	午後2時～3時	4階「エリゼ」	正会員78名（委任状25名）
表 彰 式	午後3時15分～45分	4階「エリゼ」	被表彰者18名、記念品贈呈7社
懇 親 会	午後4時～5時	3階「セレナーデ」	出席者152名

◇定時総会会長あいさつ（要旨）

有井会長は、冒頭のあいさつで、コロナ禍以降の現状認識に触れられ、引き続き、働き方改革や機械設備工事施工マニュアルの改訂を中心に述べられました。

働き方改革では、残り10ヶ月少々で適用が開始される時間外労働の上限規制について、当工業会では何年も前から取り組んできましたが、今年2月に実施した会員意識調査では、去年は約4割であった時間外労働の上限規制に対応ができない、とした会員が、今年は約6割と上昇したことを受け、発注者により調整力を発揮していただくことで働き方改革に道筋をつけていきたいと語られました。

また、今年改訂される機械設備工事施工マニュアルについて、今回の改訂マニュアルからは、これまでのように冊子を購入する形式ではなく、横浜市のホームページからダウンロードする形式にすることを報告し、マニュアルの入手方法に誤解がないように注意喚起をされました。

さらに、マニュアルの改訂にあたり、デジタル化し横浜市ホームページ上で無料公開を行うなど、より社会貢献度の高いマニュアルへ改訂したことから、改めて横浜市に対して、当会の社会貢献度を理解いただき、当会会員限定のインセンティブ発注を実現するアピールをしっかりと行っていくとの抱負を述べられました。

◇定時総会議事

7議案について、各担当役員から提案理由の説明があり、満場一致で可決承認されました。

第1号議案 令和4年度事業報告について

第5号議案 令和5年度入会金及び会費分担額案について

第2号議案 令和4年度決算報告及び監査報告について

第6号議案 令和5年度収支予算案について

第3号議案 令和5年度事業計画案について

第7号議案 役員を選出について

第4号議案 令和5年度安全スローガン議決案について

◇懇親会

懇親会は4年ぶりの開催となり、有井会長の挨拶に続き、当会顧問の神奈川県議会議員桐生秀昭様、横浜市議員佐藤祐文様、前内閣総理大臣・衆議院議員菅義偉秘書の新田章文様より温かいお祝いの言葉をいただき、当会 川本守彦相談役の乾杯の発声で始まり、盛会のうちに終了しました。

表彰式の概要

1 表彰状授与

【特別功労者表彰（工業会会長推薦）】

・川本 守彦（川本工業株）

【特別功労者表彰（役員）】

・小松 信幸（株小松工業）

【会員表彰】

・林田 武（東都熱工業株）

【会員事業所従業員表彰】

・佐藤 薫（株金子工業所）

・岩淵 智紀（川本工業株）

・山本 環（川本工業株）

・長池 勝利（川本工業株）

・船橋 恵司（川本工業株）

・金子 彰秀（株光電社）

・海平 呂人（熱研プラント工業株）

・菊池 英一（熱研プラント工業株）

・千木良 博（熱研プラント工業株）

・亀山 直明（熱研プラント工業株）

・伊東 匠（宮下工業株）

【職員表彰】

・岩崎 安代

（（一社）神奈川県空調衛生工業会）

【安全スローガン入賞者表彰】

❖ 最優秀賞

天野 友恵（株光電社）

❖ 優秀賞

中島 保生（三機工業株）

外越 新太郎（三機工業株）

2 記念品贈呈

❖ 令和4年度「公立工科高等学校現場実習生受入れ」協力会員企業

・（株）M K 設備設計

・エルゴテック株

・川本工業株

・（株）光電社

・（株）丹野設備工業所

・（株）西原衛生工業所

・三沢電機株

3 会長祝辞

4 受賞者代表謝辞

林田 武（東都熱工業株）

※敬省略

◆ 特別功労者表彰 （工業会会長推薦）



◆ 特別功労者表彰 （役員）



◆ 会員表彰 および受賞者代表謝辞



◆ 会員事業所従業員表彰



◆ 安全スローガン入賞者表彰



◆ 記念品贈呈 ・ 令和4年度「公立工科高等学校現場実習生受入れ」協力会員企業



令和5年度 役員及び執行体制

1. 令和5年度役員について

令和5年5月12日(金)開催の第56回定時総会において、令和5年・6年度役員として理事19名及び監事3名が選出され、また、同日開催の新役員による第1回理事会において、正副会長等が選出されました。

なお、新任の理事に北林 雅彦氏（新菱冷熱工業(株)）が就任されました。

2. 令和5年度の執行体制について

●理事（19名）

会 長 有 井 清（株）ヨコレイ）
 副 会 長 阿 部 哲 也（高砂熱学工業(株)）＜総務・財務・技術・安全担当＞
 副 会 長 三 澤 隆（三沢電機(株)）＜企画政策・渉外・研修・情報担当＞
 専 務 理 事 鈴 野 和 重（(一社)神空衛）＜兼事務局長＞
 委員会担当理事 理事（各委員会正副委員長）

●監事（3名）

辻 村 淳 一（興信工業(株)）
 菊 地 達 郎（文化興業(株)）
 奥 津 勉（公認会計士・税理士奥津勉事務所）

●相談役（3名）

川 本 守 彦（川本工業(株)）
 大須賀 洋（(株)光電社）
 五十嵐 一 喜

●委員会

委員会名	委員長（理事）	副委員長（理事）	副委員長（理事外）
総 務	(兼)阿 部 哲 也 (高砂熱学工業(株))	雨 宮 朋 之 (須賀工業(株))	
財 務	川 本 敏 之 (川本工業(株))	築 地 正 明 (株)光電社)	
企画政策	(兼)三 澤 隆 (三沢電機(株))	高 橋 英 敏 (ダイダン(株))	三 浦 信 之 (川本工業(株))
渉 外	小 松 信 幸 (株)小松工業)	小 林 範 雄 (東洋熱工業(株))	丹 野 徳 人 (株)丹野設備工業所)
研 修	東 軒 秀 和 (熱研プラント工業(株))	朝 倉 保 幸 (株)アクトエンジニアリング)	
情 報	後 藤 守 利 (カナレイ(株))	北 林 雅 彦 (新菱冷熱工業(株))	
技 術	横 山 順 二 (エルゴテック(株))	小 澤 信 (株)朝日工業社)	奥 田 真 三 (新菱冷熱工業(株))
安 全	小 堀 段 (興和工業(株))	大 橋 真 悟 (三機工業(株))	

会員意識調査報告の概要

(令和5年2月実施)

I はじめに

工業会では、会員の現状を把握・分析し、課題の改善及び政策提言等に役立てるため、会員企業の皆様にご協力いただき意識調査を実施し、この度報告書に取りまとめました。

会報では紙面の制約があり集計の一部の掲載となります。回答をいただいた会員の皆様には、別途調査結果の詳細を送付いたします。また、他に入手を希望される方は事務局にご連絡ください。

II 会員意識調査実施の概要

会員企業に調査用紙を郵送及びメールで送付し、メールあるいはファックスで回収した。

- (1) 依頼企業数 76社
- (2) 調査期間 令和5年2月17日～3月3日
- (3) 有効回答数 68社 (回答率 89.5%)

III 会員意識調査結果の概要 (特に令和〇年等の記載のないものは令和5年の数値)

1 会員の景況感について (令和5年2月、令和4年2月、令和3年2月比較)

景況感の項目で「良い、やや良い」から「やや悪い、悪い」を引いた指数では、令和3年2月時点で△33.8ポイントであったものが、令和4年2月には△23.4ポイント、令和5年2月には△5.9ポイントまで改善している。

	好景気判断 A + B = F	悪景気判断 C + D = G	景況感 F - G
令和5年2月	14.7	20.6	△ 5.9
令和4年2月	11.0	34.4	△23.4
令和3年2月	9.3	43.1	△33.8

本社 所在地別	年別 回答企業数		会員企業の景況感 (%)									
			良いA		やや良いB		変わらず		やや悪いC		悪いD	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
横浜市内	32	31	0.0	0.0	9.4	6.5	62.5	58.1	28.1	35.5	0.0	0.0
県内	16	14	12.5	0.0	0.0	14.3	68.8	64.3	18.8	14.3	0.0	7.1
県外	20	19	5.0	5.3	20.0	10.5	65.0	42.1	5.0	42.1	5.0	0.0
計	68	64	4.4	1.6	10.3	9.4	64.7	54.7	19.1	32.8	1.5	1.6

2 働き方改革について

(1) 時間外労働の上限規制等の法改正への対応について

① 時間外労働の上限規制

時間外労働の規制への対応ができなかったとした会員は、令和3年が47.7%、令和4年が47.8%と変化が見られなかったが、令和5年度は60.3%と増加している。時間外労働の上限規制の適用まで1年となり、対応が難しいと実感する会員が増えていると思われる。

【時間外労働の上限規制に対応できない】

本社 所在地別	令和5年			令和4年			令和3年		
	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合
横浜市内	32	18	56.3	31	13	41.9	30	14	46.7
県内	16	14	87.5	16	9	56.3	14	7	50.0
県外	20	9	45.0	20	10	50.0	21	10	47.6
計	68	41	60.3	67	32	47.8	65	31	47.7

② 週休2日制の実現

週休2日制を実現できなかったとした会員は、令和3年が64.6%、令和4年が68.8%、令和5年が70.1%と徐々に増加している。本社所在地別に見ても傾向に変化は見られない。

【週休2日制が実現できない】

本社 所在地別	令和5年			令和4年			令和3年		
	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合	回答数	件数	割合
横浜市内	32	22	68.8	30	21	70.0	30	22	73.3
県内	16	12	75.0	16	10	62.5	14	9	64.3
県外	19	13	68.4	18	13	72.2	21	11	52.4
計	67	47	70.1	64	44	68.8	65	42	64.6

(2) 時間外労働の上限規制等について

① 対応が難しい部門

法改正への対応が難しい部門については、施工管理部門が第1位であることは令和5年、4年、3年とも変わらないが、施工管理部門が難しいと回答した会員の割合が令和3年の69.2%から令和4年は88.3%、令和5年は93.2%と増加していることから、他の部門に比べ対応が進んでいないことが明らかになっている。

② 対応が難しい原因について（複数回答）

法改正への対応が難しい理由では、第1位が「人手が不足している」で会員の76.7%が回答している。第2位は「当初の工程に余裕がない」で67.4%、第3位は「設計変更が多い」で48.8%と半数が回答をしている。

本社所在地別	横浜市内		県内		県外		計	
回答数	20		14		9		43	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
人手が不足している	16	80.0	10	71.4	7	77.8	33	76.7
当初の工程に余裕がない	12	60.0	9	64.3	8	88.9	29	67.4
躯体工事等前行程の遅れ	8	40.0	6	42.9	3	33.3	17	39.5
設計変更が多い	12	60.0	4	28.6	5	55.6	21	48.8
施設管理者への事前説明不足	1	5.0	2	14.3	0	0.0	3	7.0
機器や部品の納入の遅れ	7	35.0	3	21.4	3	33.3	13	30.2
その他	2	10.0	1	7.1	1	11.1	4	9.3

(3) 週休2日制の実現について

① 実現が難しい部門

週休2日制の実現が難しい部門については、回答があった49社のうち48社、98.0%が施工管理部門を挙げている。

② 実現が難しい原因について（複数回答）

実現が難しい原因については、「発注工事が4週8閉所を前提としていない」が62.0%、「工期が短い」が60.0%と6割以上の会員が理由として挙げているが、一方「施設管理者への事前説明不足」は4.0%と低かった。

本社所在地別	横浜市内		県内		県外		計	
回答数	24		13		13		50	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
発注工事が4週8閉所を前提としていない	13	54.2	8	61.5	10	76.9	31	62.0
施設管理者への事前説明不足	2	8.3	0	0.0	0	0.0	2	4.0
元請業者が4週8閉所に理解がない	7	29.2	5	38.5	3	23.1	15	30.0
業者間での調整が整わない	12	50.0	4	30.8	3	23.1	19	38.0
工期が短い	14	58.3	6	46.2	10	76.9	30	60.0
その他	4	16.7	2	15.4	0	0.0	6	12.0

(4) 現場管理人の業務量増の要因について

① 設計が不完全と感じられる割合

設計が不完全と感じている会員は88.2%と大半の会員が感じているが、5割以上の工事に設計の不完全を感じている会員だけでも47.1%と約半数あった。

本社所在地別	横浜市内		県内		県外		計	
回答数	32		16		20		68	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
10割	0	0.0	1	6.3	1	5.0	2	2.9
7割以上	9	23.1	2	12.5	2	10.0	13	19.1
5割以上	11	34.4	2	12.5	4	20.0	17	25.0
3割以上	6	18.8	5	31.3	2	10.0	13	19.1
3割未満	2	6.3	6	37.5	7	35.0	15	22.1
特になし	4	12.5	0	0.0	4	20.0	8	11.8

② 設計が不完全になる理由（複数回答）

設計が不完全になる理由としては、第1位が「設計会社の現地調査不足」で58.2%、第2位が「発注機関の設計能力不足」と「概算設計（現地合わせ）で良いとする習慣」でそれぞれ44.8%となっている。

本社所在地別	横浜市内		県内		県外		計	
	31		16		20		67	
回答数	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
発注機関の設計能力不足	13	41.9	6	37.5	11	55.0	30	44.8
不適切な時期の発注	4	12.9	4	25.0	4	20.0	12	17.9
設計に要する時間が短い	12	38.7	3	18.8	10	50.0	25	37.3
発注機関の施設管理者等との調整不足	14	45.2	5	31.3	5	25.0	24	35.8
設計会社の能力不足	9	29.0	3	18.8	8	40.0	20	29.9
設計会社の現地調査不足	18	58.1	11	68.8	10	50.0	39	58.2
概算設計(現場合わせ)で良いとする習慣	12	38.7	7	43.8	11	55.0	30	44.8
わからない	3	9.7	2	12.5	3	15.0	8	11.9
その他	2	6.5	1	6.3	1	5.0	4	6.0

3 インボイス制度について

(1) 事業者登録

インボイス制度への会員登録は2月時点で85.3%となっている。

本社所在地別	横浜市内		県内		県外		計	
	32		16		20		68	
回答数	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
登録している	28	87.5	13	81.3	17	85.0	58	85.3
登録の準備を進めている	3	9.4	1	6.3	2	10.0	6	8.8
登録を検討している	0	0.0	2	12.5	1	5.0	3	4.4
登録しない	1	3.1	0	0.0	0	0.0	1	1.5
廃業を検討している	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(2) 下請業者や仕入先への対応 (複数回答)

今年10月からは下請業者や仕入先との取引にインボイス制度が適用される。下請業者や仕入先に制度への対応を確認している会員が56.7%と過半数ある。また、登録を勧めている会員が35.8%、情報提供している会員が14.9%あり関心が高い。

本社所在地別	横浜市内		県内		県外		計	
	31		16		20		67	
回答数	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
下請業者や仕入先に対応を確認している	17	54.8	10	62.5	11	55.0	38	56.7
下請業者や仕入先に登録を勧めている	14	45.2	6	37.5	4	20.0	24	35.8
下請業者や仕入先にインボイス制度の情報提供をしている	6	19.4	2	12.5	2	10.0	10	14.9
下請業者や仕入先を登録事業者に限定する予定	0	0.0	0	0.0	1	5.0	1	1.5
下請業者や仕入先で登録せずに廃業するところがある	0	0.0	1	6.3	0	0.0	1	1.5
特に対応はしていない	3	9.7	2	12.5	1	5.0	6	9.0
その他	2	6.5	0	0.0	3	15.0	5	7.5

4 建築物の石綿事前調査について

今年10月から石綿の事前調査は建築物石綿含有建材調査員等が行うこととなるが、会員の52.9%は調査を他社に委託する予定としている。また、調査員を自社で確保している会員が30.9%、自社で育成する会員が22.1%あった。

本社所在地別	横浜市内		県内		県外		計	
	32		16		20		68	
回答数	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
自社で調査員を確保	6	18.8	7	43.8	8	40.0	21	30.9
自社で調査員を育成	8	25.0	2	12.5	5	25.0	15	22.1
資格者の雇用を予定	1	3.1	0	0.0	0	0.0	1	1.5
調査を他社に委託予定	15	46.9	9	56.3	12	60.0	36	52.9
対応を検討中	4	12.5	0	0.0	3	15.0	7	10.3

「建築物石綿含有建材調査者講習（一般）」開催 安全委員会

安全委員会主催令和4年度安全講習会「建築物石綿含有建材調査者講習（一般）」を下記のとおり開催しました。

開催日 令和5年2月14日(火)～2月15日(水)

会場 当会4階会議室

受講者 21名

講師 (公社)神奈川労務安全衛生協会
専任講師 清水 俊貴氏、植野 信氏



受講内容

<1日目>

- ・オリエンテーション
- ・建築物石綿含有建材調査に関する基礎知識1
- ・建築物石綿含有建材調査に関する基礎知識2
- ・石綿含有建材の建築図面調査

<2日目>

- ・現場調査の実際と留意点
- ・建築物石綿含有建材調査報告書の作成
- ・終了考査（筆記試験）

令和4年度第2回研修会（オンライン）」開催 ～建設業のコンプライアンス（建設業の現状と課題）～ 研修委員会

2月24日(金)午後2時から、建設業のコンプライアンスを学ぶ研修会をオンライン（Zoom）で開催し、59名の方に参加いただきました。

コンプライアンスは、会社の健全性を担保するために極めて重要な施策となるため、当会では毎年研修テーマとして取り上げており、令和4年度は昨年の建設業法の概論に引き続き、建設業の現状と課題をテーマに開催しました。

研修会は、有井会長のあいさつに引き続き、公益財団法人建設業適正取引推進機構企画業務部次長の本間 恒之氏より講演をいただき、テキストには、建設業をとりまく現状と課題－建設産業施策ハンドブッカーを使用しました。

講演では、まず、現状として、建設業には他の産業と比較して高齢化の進行と若手の入職率・定着率が低いという課題があり、若手技能労働者が定着しない理由として、休みが取りづらいことや危険が伴うこと、賃金が低いことなどが具体的な数値で例示されました。また、制度面で順守すべき事項として来年4月に迫った時間外労働の上限規制の適用や今年4月から適用された割り増し賃金について詳細な解説がありました。

次に、こうした現状を踏まえ、担い手の確保のために守るべき建設業法や労働基準法の要点や働きやすい職場づくりに向けた取組みについて平易に解説いただきました。

建設業のコンプライアンスについては、継続的に会員の皆様に働き掛けをすることが大切と考え、今後も継続的に開催してまいります。



講師 本間 恒之氏
(公財)建設業適正取引推進機構
企画業務部次長

定例理事会議事報告(2月・3月・4月・5月・6月)

2月定例理事会(第593回)

2月10日(金)午後2時からの理事会で原案どおり承認されました。

1. 令和4年度決算見込みについて
2. 令和5年度事業方針及び予算編成方針(案)について
3. 第56回定時総会までのスケジュール(案)について

3月定例理事会(第594回)

3月10日(金)午後2時からの理事会で原案どおり承認されました。

1. 令和5年度各委員会事業計画・予算(案)について

4月定例理事会(第595回)

4月14日(金)午後2時からの理事会で原案どおり承認されました。

1. 正会員入会申込みについて
2. 第56回定時総会提出議案について
3. 第56回定時総会等の運営について

5月定例理事会(第596回)

5月12日(金)午後1時20分からの理事会で原案どおり承認されました。

1. 第56回定時総会等の運営(確認)について
2. 役員候補者及び会の執行体制について

新役員選出後の第1回理事会(第597回)

1. 会長の選出
2. 副会長・専務理事の選出

6月定例理事会(第598回)

6月9日(金)午後2時からの理事会で原案どおり承認されました。

1. 行事日程について
 - ① 7月定例理事会
(7月14日(金)午後4時30分～
箱根「湯本富士屋ホテル」)
 - ② 第57回定時総会
(令和6年5月17日(金)
「ロイヤルホールヨコハマ」)

(一社)日本空調衛生工事業協会 第75回定時総会



5月23日(火)帝国ホテル東京において第75回定時総会が開催されました。

藤澤会長からは、まず、会員各社の業績は順調に推移しているが、人手不足に加え資機材価格の高騰、納期の遅れ、労務費の上昇で採算確保に苦労している実情があるとの現状認識が述べられ、令和5年度については、時間外労働の罰則付き上限規制も残された猶予期間は1年もないことから、働き方改革の実現こそが担い手確保、業界の発展につながると訴えられました。

議事は、令和4年度事業・会計決算報告、令和5年度事業計画・収支予算案、役員の変更などが審議されました。

令和5年度業界実践スローガンでは、トップに働き方改革の推進を掲げ、情報技術の活用による生産性の向上などとともに、特に、今年度は施工現場の4週8閉所の拡大により未来を担う多様な人材の確保・育成を図ることが示されました。

また、役員人事では、藤澤一郎会長(ダイダン株)が再任され、新たに、石田博一氏(三機工業株)、黒田長裕氏(日比谷総合設備株)が副会長に選出されました。

神空衛からは有井会長、阿部、三澤副会長、川本相談役、川本、東軒、横山理事、鈴野専務理事が出席しました。

新役員紹介

どうぞよろしくお願ひします



理事 きたばやし まさひこ
北林 雅彦

新菱冷熱工業株式会社
令和4年10月執行役員 横浜支社長
趣味 ゴルフ、読書

新会員紹介

《正会員》

(令和5年4月入会)

・株式会社稲垣冷熱

代表取締役 稲垣 聡

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-19-38
TEL 045-410-6544 FAX 045-410-6545

・株式会社ユウサービス

代表取締役 佐竹 雄

〒240-0053 横浜市保土ヶ谷区新井町165-3
TEL 045-827-3228 FAX 045-827-3229

親睦会報告

◎令和4年度後期麻雀大会



優勝者 小松 信幸 氏

渉外委員会主催の麻雀大会が、令和5年3月3日(金)麻雀クラブ「ロン」において12名が参加して行われました。成績は次のとおりです。

優 勝 小松 信幸 [(株)小松工業]

準 優 勝 辻村 淳一 [興信工業(株)]

◎令和5年度前期ゴルフ大会



優勝者 荻原 智志 氏

渉外委員会主催のゴルフ大会が、令和5年5月31日(水)横浜カントリークラブにおいて43名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優 勝 荻原 智志 [(富士機材(株))]

準 優 勝 大貫 敏夫 [(株)ヨコレイ]

バスグロ賞 細井 洋一 [(カナレイ(株))]



ゴルフ大会参加者の皆様

会員に関するお知らせ

《正会員》

神奈川総合設備株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年1月	本社	所在地	〒220-0042 横浜市西区戸部町四丁目158番地	〒220-0053 横浜市西区藤棚町一丁目49番地

株式会社金子工業所

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年3月	本社	代表者	代表取締役 金子 昌宏	代表取締役 金子 繁夫

株式会社朝日工業社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年4月	横浜支店	事業所代表者	横浜支店長 平 和昭	上席執行役員 横浜支店長 小澤 信

三建設備工業株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年4月	横浜支店	事業所代表者	支店長 曾根 博史	執行役員 支店長 森川 浩二

株式会社城口研究所

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年4月	横浜支店	事業所代表者	支店長 富田 浩嗣	支店長 荘司 成利

大成設備株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年4月	神奈川支店	事業所代表者	支店長 藤澤 慎	支店長 畠谷 正彦

大成温調株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年4月	横浜支店	事業所代表者	上席執行役員横浜支店長 長野 元昭	上席執行役員横浜支店長 里見 則昭

新日本空調株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年5月	横浜支店	所在地	220-0011 横浜市西区高島一丁目1番2号 横浜三井ビルディング11階	〒231-0013 横浜市中区住吉町4-45-1 関内トーセイビルⅡ

株式会社康栄社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年6月	本社	代表者	代表取締役 木匠 勲	代表取締役 千葉 敏朗

《賛助会員》

株式会社内田洋行ITソリューションズ

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年3月	本社	所在地	〒135-0034 東京都江東区永代1丁目14-5 永代ダイヤビルディング	〒105-0004 東京都港区新橋6-1-11 Daiwa御成門ビル
		TEL	03-6773-7788	03-5777-6621
		FAX	03-6852-0151	03-5777-6620

TOTO株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年4月	横浜支社	事業所代表者	支社長 北山 昇一	支社長 谷口 毅

TOTOアクアエンジ株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年4月	横浜支店	事業所代表者	支店長 森田 敢	支店長 松澤 誠司

株式会社LIXIL

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年4月	神奈川 第4営業所	事業所代表者	営業所長 廣瀬 伸之介	営業所長 高田 淳

ホーチキ株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年4月	横浜支店	所在地 (ビルの階数)	〒220-0011 横浜市西区高島一丁目1番2号 横浜三井ビルディング13階	〒220-0011 横浜市西区高島一丁目1番2号 横浜三井ビルディング5階

ダイキン工業株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
令和5年5月	東京支社	所在地	〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー	〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル
		TEL	03-3520-3025	03-6716-0355
		FAX	03-3520-3028	03-6716-0221

工業会報告

当工業会会員、興信工業株式会社 代表取締役社長 辻村 淳一氏が5月24日に逝去されました。ここに謹んでご報告申し上げます。

空気をデザインする会社 AIR DESIGN COMPANY

空間によって、求められる空気の「質」も変わります。

私たちはそこで過ごすヒトやモノに配慮しながら空気をデザインする。ひとつひとつオーダーメイドで、その場所にふさわしい、最適な空気質をつくる。心地よいと感じる「空気」があって、はじめて、そこに居たいと感じる「空間」ができる。

そう信じているから。



健康空調

UVCランプで細菌やウイルスを除去し、クリーンな空気をつくります。見えない恐怖からあなたの大切な空間を守ります。

オクージュオ

室外機一体型で省スペース。現地での冷媒配管工事や試運転調整の手間が無く、手軽に新鮮外気量を増やせます。

新晃工業株式会社 www.sinko.co.jp

本社 Tel/06-6367-1811

大阪支社 Tel/06-6367-1801

東京支社 Tel/03-5640-4155

名古屋支社 Tel/052-581-8661



お問い合わせはこちら

あすみる、
アズビル。



オートメーションで未来を描く

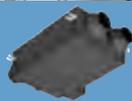
アズビルは、計測・制御技術を通して、安心・快適の実現と地球環境に寄与してきました。これからも、お客さまに寄り添い、お客さまの現場における価値の創造により、持続可能な社会の実現に貢献します。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー 横浜支店
〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1横浜ランドマークタワー
TEL:045-224-1550 www.azbil.com/jp/

快適な温度はそのままに 空気だけを入れ替える



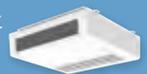
室内・外を問わず設置できる
露出設置形



室内スペースが確保できる
屋外設置形

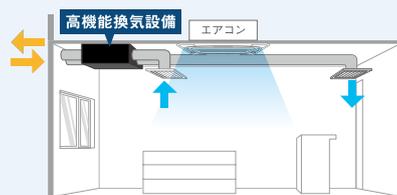


天井内のスペースがない場所に
天井吊形



全熱交換器ユニット ベントイェール

高機能換気設備



新鮮な外気を取り込み
汚れた空気は排出

室内を快適な温度に保ち
省エネも両立

外気を取り込む際に
花粉や有害物質を除去

つくる人に最適を。
くらす未来に快適を。



kanzai

日本管機センター株式会社

管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材、国内外総合商社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀 2-24-3 PMOビル
TEL 03(5541)5111(大代表) FAX 03-5541-5115

配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場 3-2-4
TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265

EBARA



ポンプを購入したいが
どこに問合せしたら...

まずは僕、
エボットに
聞いてみて!

なんでも検索できる
ページはないのかな...

営業時間外の
緊急時の連絡先が
知りたい...

製品の図面が
欲しいんだけど
どこを見れば...

従来製品のこと、
アフターサービスのこと、その困ったを

**エバラチャットボットに
聞いてみてください!!**

スマートフォンからは
こちらからアクセス!



<https://aicc-chatbot.ebara.com/>

パソコンからは **エバラチャットボット** で検索しアクセス

**24時間
365日
対応!**



弁護士法人

萬國橋法律事務所

業務内容

- 不動産関連 (明渡し、借地、借家)
- 契約
- 企業法務
- 相続関連 (遺産分割・遺留分・遺言)
- その他各種法律問題ご相談ください

〒231-0002

横浜市中区海岸通4丁目18番地 空調衛生会館6階

TEL : 045-680-0260 FAX : 045-680-0269

info@bankoku-law.jp



今後の行事予定

- ◇「改訂 機械設備工事施工マニュアル」説明会
日 時：令和5年7月11日 (火) 午後2時～
場 所：横浜市情報文化センター 6階情文ホール
およびオンライン

- ◇ 関東地方整備局による「入札契約制度・円滑施工
確保対策説明会」
日 時：令和5年7月19日 (水) 午後2時～
場 所：工業会4階会議室およびオンライン

※詳細は、確定次第、開催案内をお送りいたします。

編集後記

本格的な猛暑の到来ですが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。
世界気象機関WMOによると、2023年から2027年の5年間は世界の平均気温が観測史上最も高くなる可能性が98%とのこと。
猛暑日が多い年は熱中症災害の発生件数も増える傾向にあります。
2022年は過去最多の猛暑日数でした。比較的冷夏であった2021年と比べると、県内建設業の熱中症災害発生件数が約3倍になったようです。
熱中症予防の安全対策として、日陰や冷房の効いた場所での休憩、塩及び飲料水の確保、暑さ指数 (WBGT値) の活用をこころがけ、周りの人にもお声がけいただければ幸いです。

(S.H)

気を抜くな
慣れた作業が
事故を呼ぶ

神奈川県空調衛生工業会

安全作業

令和5年度安全スローガン最優秀賞
株式会社光電社 天野 友恵

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

全国安全週間

2023 7.1→7 準備期間: 6.1→30

高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ事故職場

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会